体験学習プログラム活動報告会

短期フィールドスタディー《ドイツ・オランダ》

2007年１月１８日

国際社会文化学科三年　佐柳牧子

◎テーマ

ヨーロッパの宗教と音楽

◎目的

・ユダヤ教とキリスト教・迫害と抵抗

世界最古の宗教の一つであるユダヤ教とユダヤ人の歴史、特に第二次世界大戦中のナチス・ドイツによるユダヤ人虐殺とそれに抵抗したキリスト教の牧師や神学者たちの思想や実践を、当時の強制収容所跡やアンネ・フランクの隠れ家など、ゆかりの地を訪ねることで学ぶ。

・教会音楽とパイプオルガン・歴史と現在

ドイツでは楽聖バッハの町ライプツィヒを、オランダでは大学チャペルのオルガンを製作したライル社の工房を訪ね、パイプオルガン製作の現場を見学して、教会音楽の過去と現在を学ぶ。さらにオランダ国内の歴史的オルガン(300～500年前に製作)を所有する教会を訪ね、現地で演奏していただき、それに合わせていくつかの讃美歌を歌う実習により、会衆賛美の歴史的変容を学ぶ。

◎参加者

担当教員:川島堅二先生(キリスト教学・宗教学教授)

関本恵美子先生(キリスト教音楽主事)

学　　生:１２名(国際２年３名、国際３年３名、国際４年１名、日本文化２年１名、

日本文化３年１名、日本文化４年１名、人問環境３年１名、院１年１名)

◎社会調査方法論の講義内容

１．ユダヤ教とユダヤ文化
２．ショアー(ホロコースト)
３．抵抗運動(カール・バルト、ボンヘッファー)
４．讃美歌の歴史と背景
５．Ｊ．Ｓバッハ
６．(チャペルコンサート)
７．パイプオルガンの構造と歴史
８．オルガン見学・鑑賞・讃美歌練習
９．『アンネの日記』について

◎日程　２００６年８月３０日(水)～９月８日(金)

１日目(30日)　午前　成田発(アムステルダム・スキポール空港経由)
　　午後　ベルリン着→宿舎へ
２日目(31日)　午前　抵抗博物館、虐殺されたユダヤ人のための記念碑
　　午後　ユダヤ人博物館見学
３日目(１日)　午前　ヴァンゼー記念館見学
　　午後　ザクセンハウゼン収容所記念館見学
４日目(２日)　終日市内観光(旧国会議事堂、ブランデンブルグ門、ベルリン大聖堂、
　　ペルガモン博物館等見学)
５日目(３日)　午前　ライプツィヒへ移動、トーマス教会、バッハ博物館見学
　　午後　ニコライ教会、メンデルスゾーンハウス見学、ベルリンへ
６日目(４日)　午前　ベルリン→アムステルダム
　　午後　アンネフランクハウス見学
７日目(５日)　午前　アムステルダム国立美術館、ゴッホ博物館見学
　　午後　バスでヘールデへ移動ライル兄弟オルガン製作所見学
８日目(６日)　午前　ゼーレップ改革派教会、アットハイゼン改革派ヤコビ教会見学
　　午後　ミッドヴォルダ改革派教会、マルティー二教会見学
９日目(７日)　午後　アムステルダム・スキポール空港発
10日目(８日)　午前　成田着

◎事後活動

・短期フィールドスタディー報告礼拝(チャペルにて)
　2006年10月4日(水)チャペルアワー(10:30～11:00)
　参加者3名が感話
・多摩フェスティバル(学園祭)にて展示
・報告会(キリスト教センターにて)
　2006年11月21日(火)17:30～19:30
　参加者7名が発表
・報告書作成